HITOTSUBASHI UNIVERSITY GOLF CLUB Since 1960

緑風会会報

2025年9月号

2025年
9月15日

四大戦

8月12日から15日の4日間、東京大学主幹の下で東北大学、北海道大学、東京大学との四大戦がノースショアカントリークラブにて行われました。一橋大学からは４年井林、大塚、落合、２年潮田、今井、行田、１年依田の計７名が出場しました。
大会は2日目を終え3校が一位に並ぶ激戦となりましたが、見事優勝することができました。

試合では毎日チョロを打ったことはここだけの秘密ですが、初日は先輩のおかげもあり、ダブルス戦で勝利することができました。一方で最終日の個人戦であと二打縮めていれば入賞できていたことが心残りです。これからもこの経験を糧に、しっかりと実力を伸ばしていきます。 最後になりますが、今回の勝利は日頃の練習の積み重ねと部員同士の支え合いの賜物であり、またOB・OGの皆さまからのご支援が大きな力となりました。この場を借りて、心より御礼申し上げます。

文責　依田①

東京地区国公立大学体育大会

8月15日に、東京工業大学、東京医科歯科大学、合わせて東京科学大学と交流戦を実施し、4年生から1年生まで十数名が参加しました。会場は9月に男女リーグ戦が行われる芳賀カントリークラブにしていただき、一橋大学としてもリーグ戦に向けた良い調整の機会となったように思います。 私は両大学の皆さまとお会いするのは初めてでしたが、普段とは違う新鮮な空気の中、お互いの部活の話など会話が弾み、和気あいあいとプレーすることができました。交流戦としてはストローク数で一橋大学が優勝し、新ペリア式のコンペで個人でも3年の田中が1位となるなど、プレー後も大いに盛り上がりました。このような貴重な機会を設けてくださった両大学の皆さま、OBOGの皆さまに厚く感謝申し上げます。またご一緒できましたら幸いです。

文責　漆山②

男子レギュラー合宿

8月20日から22日の3日間、芳賀カントリークラブにて男子レギュラー合宿を実施しました。
今回の合宿では、4年生・3年生に加えて多くの2年生が参加し、非常にフレッシュな顔ぶれとなりました。90を超えるとレギュラーから外れるという、一橋大ゴルフ部としては異例ともいえる高いレベルでの争いが繰り広げられる中で、初参加の2年生にとってはレギュラー争いの厳しさを肌で感じる機会となりました。

そして、激戦の末に以下の8名がレギュラーメンバーとして選出されました。
4年：曽根、池澤、落合、本田、石崎
3年：山下
2年：山田、長谷川
Cリーグ昇格を目指し、各選手が日々努力を重ねており、癖のあるグリーンにも順応しつつあります。今回レギュラーから漏れたメンバーの思いも背負い、部員一丸となって全力を尽くしてまいります。応援のほど何卒よろしくお願いいたします。

文責　山下③

女子レギュラー合宿

8月20日から22日の3日間で、秋季リーグ戦会場である芳賀カントリークラブにて、レギュラー合宿を行い、4年の井林・大塚、3年の漆山・李、1年の増田が参加しました。

昨今の女子部の盛り上がりを象徴するように、多様な学年勢揃いで切磋琢磨しあう3日間となりました。このように刺激的で恵まれた環境にあることを大変嬉しく思います。

秋季リーグ戦会場は、春季に比べて距離も短く、ハザードも少なく、より好スコアで回ることが期待されます。自分たちのベストを尽くして優勝と昇格をかなえるための良い練習機会となりました。

文責　李③

岡田会

8月23日から24日にかけて、OBの岡田様が主催される岡田会に参加させていただきました。今回は3年の山下、増本、2年の今井が参加しました。 23日のお昼からフォレスト鳴沢ゴルフ＆カントリークラブでショット練習を行いました。富士山の絶景を目の前に行う打席練習は感動的でした。その後、芝からの100ヤードのアプローチとバンカー練習を行いました。普段、芝からのアプローチ練習をする機会がない学生にとって、とても貴重な経験となりました。2日目には富士レイクサイドカントリー倶楽部にてラウンドを行いました。コースは洋芝で難易度も高かったですが、前日の練習の成果を出すことができました。

2日間を通して、技術面やコースでの立ち回り方など、様々なことを岡田様から直接ご指導いただけたのは大変貴重な経験であり、今後の上達に向けた大きな一歩となりました。またゴルフ面だけではなく、現在も社会の第一線でご活躍されている岡田様のお話は、すべてが新鮮で大変興味深く、多くの学びがありました。このような貴重な機会を提供してくださった岡田様に心より感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

文責　今井②

蒲田様激励会

8月25日に西新宿住友ビルの「個室居酒屋　番屋」にて蒲田様をはじめとして、吉川様、長谷川様、寺嶋様にご参加いただき、秋季リーグ戦に向けた激励会を開いていただきました。名物のすき焼きをご馳走になり、とても美味しくいただきました。また、温かい激励のお言葉に心より感謝申し上げるとともに、リーグ戦を全力で戦い抜こうと決意を新たにいたしました。誠にありがとうございました。

文責　石崎④

8月学連月例

2025年度関東学生ゴルフ連盟　男子8月月例会

主　　催：　関東学生ゴルフ連盟
期　　日：　2025年8月26日（火）
使用コース：　富士カントリークラブ　　6525yards　Par72
競技方法：　18ホール・ストロークプレー
取得権利：　上位12名の選手が「第63回会長杯争奪関東学生ゴルフ選手権」への出場権を取得。但し同大会の出場権を既に取得している選手を除く。
天　　候：　晴

順位	氏名	大学名・登録年	OUT	IN	TOTAL
1T	飯倉 颯太郎	日本大学②	37	38	75
	石澤 慧翔	成蹊大学④	36	39	75
3T	宮野 雄月	日本大学③	40	36	76
	小澤 翔	日本大学③	39	37	76
	小山 泰成	獨協大学④	37	39	76
6	関本 琉志	日本大学③	36	41	77
7T	古瀬 優太朗	成蹊大学③	42	36	78
	神山 高輝	法政大学③	40	38	78
	曽根 魁斗	一橋大学④	38	40	78
10T	白野 直遥	東京大学③	40	39	79
	清水 泰斗	法政大学④	38	41	79
12T	陳 伯奕	上智大学①	42	39	81
	池澤 秀明	一橋大学④	41	40	81

以上、既に「第63回会長杯争奪関東学生ゴルフ選手権」を獲得している選手を除く
上位12名が、同大会への出場権を獲得

8月26日に富士カントリークラブにて、関東学生ゴルフ連盟8月月例会が行われました。一橋からは、4年の池澤、曽根、井林、大塚が出場し、池澤と曽根が予選通過をいたしました。11月に我孫子ゴルフ倶楽部で行われる会長杯争奪関東学生ゴルフ選手権に出場いたします。 詳しくは上記の写真をご覧ください。 富士カントリークラブはアップダウンが激しいタフなセッティングで、OBも気になるホールが多いのが特徴です。多くの選手がスコアを落とす結果になり、「耐える」チカラが試されました。 会長杯で結果を出せるよう、それぞれ精進してまいります。

文責　池澤④

男子リーグ戦

9月9日、10日の2日間で男子Dブロックリーグ戦に出場しました。4年生最後のリーグ戦ということもあり、最後は優勝して昇格するぞ！という熱い思いのもと臨みました。初日は398ストロークで1位タイというかたちで終わりました。2日目では414ストロークで、総合2位という結果でした。チームとしては最高の雰囲気でしたが、各々が緊張から実力を発揮できませんでした。ただ、それぞれが思い通りにいかないなりにも、必死に耐えることができたのは、チームのために勝ちたいという思いがあったからだと思います。そして、蒲田さんはじめとする、OBの方々のご声援があったからだと思います。本当にありがとうございました。

10月には青山学院大学との入れ替え戦があります。気持ちを切り替えて、リーグ戦での反省を活かせるよう、あと1ヶ月弱、必死に努力し続けたいと思います。男女同時昇格を目指して、男子も必死で頑張ります。4年生男子一同、リーグ戦にて昇格を果たし、現役最後の恩返しをしたいと思っています。応援のほど、よろしくお願いします！

文責　曽根④

女子リーグ戦

9月9日・10日の2日間、芳賀カントリークラブにて関東女子大学秋季Eブロック対抗戦が行われ、4年井林、大塚、3年漆山、李の4名が出場しました。結果は2日間335ストロークの準優勝となり、創部以来初となるDブロックへの昇格を果たしました。 ブロック昇格は私が入部以来ずっと目標としてきたものであり、決して1人では成し遂げられなかった夢でした。今回のリーグ戦に向けては、ゴルフ初心者の1年生を含め、後輩や同期と共に猛暑の中で繰り返し練習ラウンドに励み、互いに切磋琢磨してきました。その努力が形となったことを大変嬉しく思います。 一方で、目標としていた320ストロークでの優勝には届かず、悔しさも残っています。しかし、これはまだ伸び代であり、来年以降Dブロックという新たなステージで活躍する後輩を心から応援していきたいと思います。

激励会を開催していただくなど、今回のリーグ戦を応援してくださったOB・OGの皆様に深く感謝申し上げます。これからも一橋大学女子ゴルフ部への温かいご声援をよろしくお願いいたします。

文責　　井林④

八大戦

9月9日から11日の3日間にかけて北海道の小樽カントリー倶楽部にて八大戦が開催され、2年今井・水野・野寄、1年依田・棚町が参加しました。 試合が行われた新コースはフラットでありながら、7000yd超の総距離と高速グリーンをもつ難コースであり、飛距離と正確性両方が求められる非常に学びのあるラウンドとなりました。 結果として2日間の5人の合計スコアが1000を超えてしまう悔しい結果となりました。リーグ戦の日程と重なり下級生のみでの参加となりましたが、この経験を糧にゴルフに精進して参ります。 主幹の北海道大学様、改めて素晴らしい大会主催していただきありがとうございました。

文責　野寄②

編集後記

朝晩にはわずかに秋の気配を感じるようになってまいりましたが、日中はまだまだ暑さが残るこの頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。夏合宿を終えた部員たちは、授業や通常練習が再開し、再びせわしない日々を送っております。

さて、先月号まで編集後記を担当しておりました関川が留学したことに伴い、今月号から二年の松本が編集を担当させていただくこととなりました。至らない点も多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。緑風会会報は、普段なかなかお伝えすることのできない現役部員の姿や活動をOB・OGの皆さまにお届けできる、大切な場だと感じております。これからもこの会報を通じて、少しでも「今のゴルフ部を応援したい」と思っていただけるような内容をお届けできるよう、努めてまいります。

最後になりましたが、私たちがこのように活動を重ねられているのは、ひとえにOB・OGの皆さまの温かいご支援があってこそです。心より感謝申し上げます。

今月号も最後までお読みいただき、ありがとうございました。まだしばらくは暑さの残る日々が続きそうですので、どうかご自愛のうえお過ごしください。

広報担当：３年角谷海空・関川夏帆子・田中雄也
２年松本明香凜・山田夏歌・山田成彰
１年山浦輝貴・高野絵里・増田葉夏